

馬主だより

第 8 5 号

平成29年4月14日
発行 (一社)ばんえい競馬
馬主協会事務局

☆ ばんえい競馬は帯広市単独開催から“十周年”を迎えます！！ ～ 全道、全国、海外からも多くのご来場をお待ちしております！！ ～

▼花の便りとともにうらかな季節の到来です。平成 29 年度のばんえい競馬開幕がいよいよ1週間後に迫って参りました。帯広市単独開催となり十周年の節目を迎え、公正競馬のもと関係者一丸となって、より一層ファンに楽しんで頂けるよう、迫力あるレースの提供とサービスの充実を図って参ります。▼ファンの皆様をはじめ本当にたくさんの方々を支えられながら、気が付けば 10 年という月日が流れました。すべての方々に関心より感謝を申し上げます。▼取り巻く環境は決して楽観できませんが、向こう 10 年でばんえい競馬は何を目指し、どのように変わのでしょうか？レース数、開催日数、競走馬の数、減っても増える可能性は少ないと考えるべきでしょう。一方で、売上げや報償費は今以上に確保していかなければならない。その上で継続できる仕組みを作る事が課題となるでしょう。▼シンプルに考えれば、追及すべきは気軽に誰でもが簡単に買える“買いやすさと視点を変えた映像、情報提供”これがポイントです。▼さて、10 年後の未来、世界はどうなっているのか？ ばんえい競馬は？決意・覚悟・勇気、そして新たな挑戦はどこまでも続く！！

平成 2 8 年度 ばんえい競馬 発売成績 (終了時)

開催 1 5 2 日間

帯広市ばんえい振興室資料提供
平成 29 年 3 月 27 日終了時

区 分	発 売 金 額							
	平成28年度			平成27年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
帯広競馬場	152	1,307,893,900	1,435,621,000	152	1,481,134,100	95.49	92.56	
直営場外	旭川北彩都	152	731,332,500	779,658,000	152	803,794,200	93.80	90.99
	ミトスポット北見	152	360,901,900	370,144,000	152	364,140,000	97.50	99.11
	ハロンス岩見沢	152	225,306,400	236,248,000	152	247,779,200	95.37	90.93
	ハロンス釧路	152	95,299,000	101,016,000	152	112,117,100	94.34	85.00
	ハロンス名寄	152	138,691,100	151,748,000	152	116,451,000	91.40	119.10
	アブスポット網走	152	57,478,000	55,019,000	152	82,022,100	104.47	70.08
	琴似駅前	152	141,604,900	150,786,000	152	146,477,100	93.91	96.67
	イルムふかがわ	152	91,045,100	93,615,000	152	115,444,700	97.25	78.86
電話投票	オッズパーク	152	5,225,315,200	5,433,313,000	152	4,757,874,200	96.17	109.82
	OP(七重勝)	152	74,346,900	129,673,000	152	51,176,000	101.80	145.28
	OP(五重勝)	152	57,661,300		152	57,893,800		99.60
	競馬モール	152	4,645,439,100	4,859,549,000	152	3,845,502,800	95.59	120.80
	SPAT4	51	1,440,908,200	1,481,072,000	47	959,052,800	97.29	150.24
広域場間場外	—	1,497,869,500	1,559,038,000	—	1,438,456,500	96.08	104.13	
場外・電投計	—	14,783,199,100	15,400,879,000	—	13,098,181,500	95.99	112.86	
合 計	152	16,154,093,000	16,836,500,000	152	14,579,315,600	95.95	110.80	
1日平均		106,276,928	110,766,447		95,916,550	95.95	110.80	

平成 28 年度該当開催(ばんえい競馬第 1 回 1 日目～第 26 回 6 日目まで 152 日間)

平成 27 年度該当開催(ばんえい競馬第 1 回 1 日目～第 26 回 6 日目まで 152 日間)

会議等の様子

○ 当協会監事監査実施！！平成 28 年 4 月～平成 29 年 2 月期迄 ～ 理事の職務執行状況、協会の業務、財務、会計について監査 ～

平成 29 年 3 月 17 日(金)当協会事務局会議室に於いて、赤堀代表理事会長、長津専務理事、事務局立会の下、当協会監事による監査を行いました。

監査は、平成 28 年 4 月から平成 29 年 2 月までの 11 ヶ月間における当協会の理事の職務の執行状況、また、協会の業務並びに財務及び会計の状況について、監査資料及び関係諸帳簿、証拠書類等に基づき、調査、閲覧、報告の聴取等により行われました。

【監事監査資料】

- 資料 1 平成 28 年度事業実施報告（見込み）
- 資料 2 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況（見込み）
- 資料 3 平成 28 年 4 月～平成 29 年 2 月期決算報告書（財務諸表）
貸借対照表、正味財産増減計算書、予算対比正味財産増減計算書、
収支計算書、予算推移付収支予算管理月報、財産目録、貸借対照表内訳表、
正味財産増減計算書内訳書、特定資産の増減及びその残高
固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高
- 資料 4 預金残高証明書（平成 29 年 2 月 28 日現在）各取引金融機関発行
- 資料 5 その他参考資料
平成 28 年度流通促進事業（臨時家畜市場）収支、純益総括表
平成 28 年度機構図、平成 28 年度新規会員、平成 28 年度会員資格喪失者、
平成 28 年度会員資格喪失対象者、平成 28 年度能検共済負担金未納者

○ 平成 28 年度第 6 回執行役員会を開催！！ ～ 新年度における特定資産等の運用方法について審議～

平成 29 年 3 月 18 日(土)当協会事務局会議室に於いて、平成 28 年度第 6 回執行役員会を開催しました。

役員会に於いては、競走馬甲慰金の査定、対象馬1頭について審議の結果、原案のとおり甲慰金の給付を決定致しました。また、平成 29 年度の特定資産等基金、預金について、各金融機関との話し合いを踏まえ、今後の管理運用方法について審議いたしました。

その他、第 6 回理事会に先立ち、各議案について意見調整を行いました。

【第 6 回執行役員会議事】

- (1) 競走馬甲慰金の査定について
- (2) 特定資産の運用方法について
- (3) 平成 28 年度第 6 回理事会議案について
- (4) その他

【馬甲慰金支給対象馬】 1頭 800,000円

内 訳 (単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬甲慰金
キタノカツヒメ	6	太 細 保 春	業務中	800,000

○ 第 6 回理事会開催 “当協会中期五ヶ年経営計画書策定”！！

～ 次年度事業計画、収支予算案なども全会一致で承認される ～

平成 29 年 3 月 18 日(土)当協会事務局会議室に於いて、平成 28 年度第 6 回理事会を開催しました。

報告事項の説明後、議案では、これまで一年間、議論を重ねてきた「当協会中期五ヶ年経営計画書(案)」について事務局より説明。いよいよ最終段階、大詰めを迎え、現状や課題を含めて、各事業それぞれ検証、評価を踏まえた上で、今後の運営の基本方針と事業展開等について、具体的に当該計画に反映するとともに、全体的な構成についても審議いたしました。

また、平成 29 年度の事業計画並びに収支予算(案)については、内容について説明、慎重審議の結果、全て原案のとおり全会一致で可決承認されました。

【第 5 回理事会議事】

日程 1	報告第 1 号	代表理事及び業務執行理事の職務執行状況
	報告第 2 号	競走馬弔慰金の給付額の決定について
	報告第 3 号	平成 29 年度帯広市ばんえい競馬に関する陳情回答
日程 2	議案第 1 号	当協会中期五ヶ年経営計画書(案)の承認について
日程 3	議案第 2 号	平成 29 年度事業計画(案)の承認について
	議案第 3 号	平成 29 年度収支予算書(案)の承認について
日程 4	協議案第 1 号	平成 29 年度ばんえい競馬実施方針説明会の開催
日程 5	その他	① 次回理事会、通常総会等の日程について ② 臨時家畜市場開設について

情報・ご案内

○ 帯広市議会審査特別委員会開催 売上げ増の取り組みを説明！！

～ 新年度報償費増額「SPAT4」ネット投票日数拡大を報告 ～

平成 29 年 3 月 17 日(金)、帯広市議会において予算審査特別委員会(大竹口武光委員長)が開催されました。

委員会では、帯広市が新年度のばんえい競馬の売り上げ増に向けた新たな取り組みとして、道内や東海以西のスポーツ紙に掲載しているばんえい競馬の馬柱(出走馬や予想情報など)を首都圏のスポーツ紙にも掲載する他、掲載するレース数を現行の 2 レースから将来的には増やして行く見通しについて説明がありました。また、南関東 4 競馬場のインターネット投票システム「SPAT4」の発売日を、従来の月曜日のみから土、日曜日にも拡充することを明らかにしました。注 1

一方、老朽化している厩舎の一部(6 棟)を改築するための実施設計を新年度に行う方針を示しました。更に生産者や騎手等の意欲向上のため、出走手当等報償費についても、2016 年度の当初予算額に比べ 85,997,000 円増の 11 億 599 万 7,000 円注 2 を計上する事についても明らかにしました。

注 1：平成 29 年度の「SPAT4」の発売については、ほぼ年間通じて発売が可能となります。

注 2：平成 29 年度の報償費については、別途送付済みの「平成 29 年度ばんえい競馬実施方針」に掲載されている報償費支給基準をご覧ください。

○ 第 49 回ばんえい記念 “オレノココロ”初挑戦で最高峰を制覇！！

～当該レースの発売額 帯広市単独開催以降最高額を記録する！～

平成 29 年 3 月 20 日(祝月)帯広競馬場では、ばんえい十勝の現役最強馬を決める最も格式の高い「農林水産大臣賞典 第 49 回ばんえい記念」が行われました。

一年の中でこの日は関係者にとっても特別な日。帯広競馬場は、終日多くの観光客やファンで賑わい、スタンドも大勢のお客で埋め尽くされる程いっぱいとなった。

今年は、1 着賞金が再び1千万円にまで戻り、関係者も力が入るレースとなりました。年度の最後を締めくくる集大成となるこのレースは、毎年、ばんえい競馬を代表する選抜された馬の中からその年度の最強馬を決める、正にばんえい最高峰のレースです。今年は 9 頭がエントリーし出走しました。

馬場水分 0.6%と乾き切った重馬場の状態。一番人気のオレノココロ(牡 7 歳、鈴木 恵介騎手)が、初挑戦で見事最高峰レースの栄冠に輝き、新王者の誕生にファンも大きな歓声を上げました。

同レースの売り上げは、58,081,400 円(昨年 42,915,900 円)と昨年を大きく上回り、帯広市の単独開催以降では最高額を記録することとなりました。

また、当時、帯広競馬場の入場者数も昨年を上回る、4,767 人となり約 300 人程度が増えました。1 日の発売額は、154,768,700 円(昨年同日 130,386,800 円)と売上・入場者数ともに前年度を上回る好成績となりました。

<オレノココロ号のプロフィール> ※2017 年 3 月 20 日現在 生年月日・毛色：2010 年 3 月 22 日(牡 7 歳・青毛) 血統：父 ウンカイ 母 富士姫 (母父) クリフジ 生産者：六車 實子氏 馬主：大森 勝廣氏 厩舎：槻館 重人厩舎 通算成績：105 戦 32 勝(うち重賞 13 勝)
--

○ 松田 道明騎手 通算2千勝達成！！

～ばんえい史上13人目 現役では5人目！～

松田道明騎手は、2017 年 3 月 20 日(祝月)の第 11 競走でホクシヨウマックス号(牡 7 歳)に騎乗して優勝。通算 2,000 勝を達成しました。おめでとうございます！！

松田 道明(まつだ みちあき) 騎手プロフィール ※2017 年 3 月 20 日(祝月) 11R 終了時点	
生年月日	1963 年 10 月 5 日(53 歳)
出身地	北海道夕張市
本年度成績	944 戦 144 勝
通算成績	16,318 戦 2,000 勝(うち重賞 49 勝)
初騎乗	1990 年 4 月 21 日(騎乗馬：マツノチゲサ号)
初勝利	1990 年 4 月 28 日(騎乗馬：テンザン号)
主な重賞(BG1)優勝	1999 年 ばんえいダービー、2002 年 帯広記念、2006 年 イレネー記念、2008 年 天馬賞・ばんえいオックス、2010 年 ばんえいダービー、2011 年 ばんえい記念、2012 年 帯広記念、2013 年 帯広記念・ばんえい記念・ばんえいグランプリ、2014 年 天馬賞、2015 年 ばんえいグランプリ・ばんえいオックス、2016 年 ばんえい記念(BG1 15 勝)

○ 帯広市ばんえい競馬運営ビジョンで“公正な競馬の確保を追記”

～今後三ヵ年の見通しを示し収支均衡以上の運営目指す！！～

帯広市は、2012 年度にばんえい競馬の中期的な経営方針や収支見通しを示した「ばんえい競馬運営ビジョン」を策定。以来、経営環境等の変化に伴ってその都度ビジョンの見直しを図りながら、経営の安定化を目指しています。今般、3 月に策定した新たなビジョンにおいて、公正確保の観点から「全ての競馬関係者が法令順守の重要性を認識し、規律の厳格化や公営競技に携わっている自覚と緊張感を持って業務に当たり、公正な競馬の確保を図る」という趣旨の文言を加え、不正防止の徹底を図る姿勢を強調しました。

また、2017 年度から三ヵ年のばんえい競馬特別会計の収支見通しでは、17 年度は収支均衡、18 年度は 2,400 万円の黒字、19 年度は消費税率 10%への引き上げを考慮して収支均衡を見込んでいる。

○ 平成 29 年度第 1 回能力検査実施！！

～今年度デビュー目指し 173 頭申込みのうち 132 頭が見事合格～

平成 29 年 4 月 9 日(日)帯広競馬場に於いて平成 29 年度第 1 回能力検査が実施されました。天候は晴れ、馬場水分は 1.2%～0.9%。

申込み頭数が 173 頭のうち、出走取消 4 頭で、当日は 169 頭が出走しました。合格馬 132 頭、不合格 37 頭という結果となりました。合格率は 78.1%でした。

当日のトップタイム(1 番時計)の馬については、第 6 レース 7 番 ホクショウテンカ号(牡 2 栗毛:岡田厩舎 鈴木恵介騎手騎乗)が 1 分 12 秒 4(馬場水分 1.2%)で 1 番時計となりました。なお、合格した馬については、順次デビュー致します。

ばんえい十勝 第 1 回能力検査成績 (過去三ヵ年)

	H29 年度	H28 年度	H27 年度
出走予定馬	173 頭	187 頭	190 頭
出走馬	169 頭	180 頭	185 頭
合格馬	132 頭	134 頭	176 頭
合格率	78.1%	74.4%	95.1%

※H29 年度は 4 歳馬 1 頭を含みます。H27 年度は 3 歳馬 1 頭を含みます。

○ 平成 29 年度 臨時家畜市場開設！！

～取引額平均約 178 万円 依然高値の取引が続く～

平成 29 年 4 月 10 日(月)帯広競馬場内において平成 29 年度第 1 回臨時家畜市場を開設いたしました。取引結果については下記のとおりです。

平成 29 年度臨時家畜市場開設成績

回数	開催月日	開催場所	出場頭数 (頭)	成立頭数 (頭)	成立率 (%)	取引総額 (円)
第 1 回	4 月 10 日	帯広競馬場	15	12	80.0	21,330,000

回数	オス最低価格 (円)	オス最高価格 (円)	メス最低価格 (円)	メス最高価格 (円)	平均価格 (円)
第 1 回	1,652,400	1,954,800	1,728,000	1,803,600	1,777,500

レース情報

○ 重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
3 月 5 日	第 48 回 イレネー記念	ホクショウムゲン	井内 昭夫	服部 義幸
3 月 12 日	第 38 回 ポプラ賞	センゴクエース	千石 貞子	槻館 重人
3 月 20 日	第 49 回 ばんえい記念	オレノココロ	大森 勝廣	服部 義幸

優勝おめでとうございます！！

◆ 第 48 回イレネー記念（3歳オープン）

単勝 1 番人気の**ホクショウムゲン**が優勝。ヤングチャンピオンシップに続く重賞 2 勝目を挙げ、世代の頂点に君臨しました。

2 月 19 日の 3 歳 A-1 戦の上位 3 頭が人気の中心。その一戦では 3 着だったホクショウムゲンが、ヤングチャンピオンシップ制覇などの実績と素質を買われて 1 番人気。その A-1 戦勝利を含め、4 連続連対中のゴールドインパクトが続き、A-1 戦 2 着で、重賞でも好勝負を演じているジェイワンが 3 番人気となりました。

馬場水分は 1.2%と若干重めの状態でスタート。全馬未経験の 690 キロ(牝馬 20 キロ減)ではありましたが、勢いよく第 1 障害を突破します。その後は刻みながら、慎重に中間点を通り。ゴールドインパクトとキタノミサキがわずかに遅れたものの、ほぼ横一線といえる状態で第 2 障害を迎えました。

少し息を整えたのち、ジェイワンが登坂を開始。ホクショウムゲンとミノルシャープがこれに続き、ゴールドデンフウジン、センショウニシキも仕掛けます。ただ、最初に動いたジェイワンが抜群のかかりを見せ、先頭で難なく突破。センショウニシキとミノルシャープが 2 番手で下り、いったん体勢を崩しかけたホクショウムゲンもこの一角でクリア。以下ナカゼンガキタ、ウンカイタイショウ、カネサススペシャルが続き、ゴールドインパクトは 8 番手から。

最後の平坦路ではジェイワンが軽快な逃げ脚を見せますが、それを上回る脚いろでホクショウムゲンが肉薄。残り 20 メートル付近から 2 頭のたたき合いとなりました。手に汗を握る展開となりましたが、残り 5 メートルを切って大勢有利はホクショウムゲン。わずか 0 秒 9 差ではありましたが、そのままの差を保って重賞 2 勝目を挙げました。障害を越えてから猛然と追いつけたゴールドインパクトが、さらに 5 秒 9 差の 3 着に入りました。

これでホクショウムゲンは 2 歳シーズン二冠を達成。障害で軽く詰まったものの、それをものともせず、ゴール前で力強く抜け出しました。デビューから 7 連勝をマークした好素材。今後この世代を牽引してってくれることでしょう。

惜しくも 2 着に敗れたジェイワンでしたが、これでデビューから【7・9・2・1】。世代上位の力を有していることは明らかです。父カネサブブラック、母ウィナーサマーという良血だけに、これからの成長が楽しみです。

ゴールドインパクトは障害で手間取った分、3 着でしたが、この馬らしい末脚を発揮し、存在感を示しました。馬場や展開次第で、タイトル奪取の可能性も十分でしょう

◆ 第38回ポプラ賞（4歳・5歳オープン）

単勝1番人気の5歳馬センゴクエースが優勝。重賞10勝目を挙げるとともに、史上初となるポプラ賞連覇を果たしました。

世代限定戦なら、やはりセンゴクエース。まだ5歳ながら一線級と互角のレースを演じている近況からも、ここでは一枚上の存在といえます。それに続くのはA1戦で好勝負しているキンメダルとホクショウディープ。センゴクエースとの40キロのハンデ差で逆転なるか、注目を集めました。

馬場水分は1.3%。砂煙を上げながら、各馬いっせいにスタートを切り、第1障害を突破します。馬群をリードするのはセンゴクエースやタカラシップあたり。バウンティハンターとホクショウディープの外枠2頭も、先頭をうかがいながら歩を進めます。ゆったり進めながらも、若干タカラシップが抜け出すかたちで第2障害を迎えました。

じっくりためたタカラシップが最初に仕掛け、やや遅れてホクショウディープ、バウンティハンターも登坂を開始します。なかでもバウンティハンターが力強く障害を登り切り、先頭でクリア。遅れて仕掛けたアスリートも抜群の登坂を見せ、差のない2番手で突破します。3番手で越えたのは、障害下でためていたセンゴクエース。以下キンメダル、タカラシップと続き、ホクショウディープは6番手で最後の平坦路に入りました。

残り20メートルを切ったあたりで、先行した3頭が横並びとなり、キンメダルがこれを懸命に追いかける展開。ここからセンゴクエースがグイグイと脚を伸ばし、残り10メートルで敢然と先頭へ。アスリートは食い下がるものの置かれ気味となり、バウンティハンターはこらえきれず後退。これで決着がつき、センゴクエースが先頭で荷物を運び切りました。2秒9差でアスリート、さらに7秒5差の3着にはキンメダルが押し上げました。

センゴクエースはこれで重賞10勝目。5歳春にして、早くもタイトル数を大台に乗せました。今後の重賞は、いよいよ歴戦の年長馬が相手。あっさり頂点を極めるのか、それとも苦戦を強いられるのか。そのレースぶりに注目です。

◆ 第49回ばんえい記念（4歳以上オープン）

単勝1番人気のオレノココロが優勝。ばんえい記念初出走で、見事に大仕事を成し遂げました。

ばんえい記念初挑戦ながら、帯広記念制覇など、高重量戦でも結果を残しているオレノココロが1番人気。昨年の覇者フジダイビクトリーも、チャンピオンカップで勝利するなど上昇気配を見せており、差のない2番人気に支持されました。崩れ知らずのニュータカラコマが続き、これが引退レースとなるキタノタイショウ、昨年3着のコウシュハウンカイまでが単勝ひと桁台。馬場水分は0.6%と乾き切り、文字通りのパワー勝負となりました。

砂煙を上げながら、9頭が第1障害へ。フクドリが多少詰まったものの、まずはひとつ目を突破。各馬とも刻みながら、一歩ずつゴールを目指します。キタノタイショウ、オレノココロ、コウシュハウンカイあたりが先行し、ニュータカラコマもこの一角。フジダイビクトリーも離れず追走し、続々と第2障害下へたどり着きました。

じっくりと、ためにためて、フジダイビクトリーとオレノココロが登坂を開始。遅れてコウシュハウンカイ、障害巧者ニュータカラコマも動きます。この間にオレノココロがヒザを折りますが、すぐに立て直しに成功。ここでホクショウユウキ、キタノタイショウ、サクラリュウも仕掛け、カインゲキも馬体をのぞかせます。さすがに1トン戦だけにヒザ折り続出で、各馬とも大苦戦。膠着状態となりましたが、前肢を踏ん張り、ニュータカラコマが懸命に荷物を曳き上げます。障害巧者の面目躍如、ようやく難関を突破し、先頭で最後の平坦路に入りました。しかし、差なく追ってきたのはフジダイビクトリー。絶好の位置でクリアし、末脚に望みをつなぎます。やや遅れての3番手はカインゲキで、半馬身ほどの差でコウシュハウンカイ。オレノココロは5番手から追う展開となりました。

ただ、先頭の2頭は障害後の脚が今ひとつ。ここで外から飛んできたのがオレノココロで、残り30メートル付近であっさり先頭に立ちます。コウシュハウンカイ、ニュータカラコマ、フジダイビクトリーも懸命に食い下がろうとしますが、脚いろの差は歴然。オレノココロは残り20メートル付近でピタッと脚を止めますが、鈴木恵介騎手がうながすと、また同じような脚で歩き始めます。そこからは完全に独壇場。ゴール寸前で再度脚を止めましたが、リードは十分。余裕をもって立て直し、4分7秒6のタイムで1トンの荷物を運び切りました。

2着争いが激しくなり、残り20メートルで2番手に上がっていたフジダイビクトリーが、10メートルを切ったあたりでストップ。そこへ6番手から伸びてきたキタノタイショウが、帯広記念の再現とばかりに強襲。フジダイビクトリーも立て直し、コウシュハウンカイ、ニュータカラコマが差なく追走。各馬が入り乱れる大混戦となりました。しかし、その中では脚いろが優っていたキタノタイショウが、力強くゴール線を切って2着。僅差でゴールしたかと思われたフジダイビクトリーはゴール線上で止まっており、その間にゴールしたニュータカラコマが3着。結局フジダイビクトリーは4着となり、連覇はなりませんでした。

名実ともにばんえいの頂点に立ったオレノココロ。持ち前のスピードに加え、着実にパワーアップを果たし、高重量戦でも結果を残せるようになりました。多少障害で手間取る面はありますが、障害後に見せた次元の違う脚は王者にふさわしいもの。来季の活躍も十分に期待できそうです。

キタノタイショウは引退レースで2着。イレネー記念、ばんえいダービーを制し、常に一線級で戦い続けてきた古豪が、最後の最後まで威厳を示しました。221戦の疲れを、ゆっくり癒してほしいと思います。

これまで、最後の根性比べでは分が悪かったニュータカラコマが、粘りを発揮して3着。持ち前の障害力はもちろんのこと、この馬のパフォーマンスが今まで以上に発揮された一戦と言えるでしょう。来季はタイトルの量産を期待したいところです。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。